

平成21年度事業報告

1. 基本運営

- 財団法人大阪府文化振興財団の運営する大阪センチュリー交響楽団は、平成21年に楽団創設20周年を迎え、タイトル指揮者2名による《創設20周年記念特別演奏会I・II》を開催し、培ってきた芸術性の高い演奏技術と表現力に対して、高い評価を得たところである。
平成21年12月、さらなる飛躍を目指して《新しい発展を目指して—20周年を迎えての新たな決意》を策定し、「大阪力・発信」、「感動・癒し」、「発掘・育成」、「交流・平和」をキーワードにオーケストラ活動を行うことを決定した。
- 大阪府補助金の大幅削減に対処するため、当面の経費削減方策を着実に実行するとともに、依頼演奏の開拓をはじめ、演奏会入場料金の改定や国・民間助成金の獲得による事業収入の増加、寄付金の拡大に取り組んできた。この一環として、故西田房子女史から2億円の遺贈による「西田房子記念基金」を創設し、星空コンサート等社会貢献活動の基盤とした。
そして、平成21年12月、これまでの大阪府補助金による楽団運営から脱却し、「自立化」、「民営化」に大きく舵をとることを決定し、スポンサーの獲得のための記者会見等を行った。

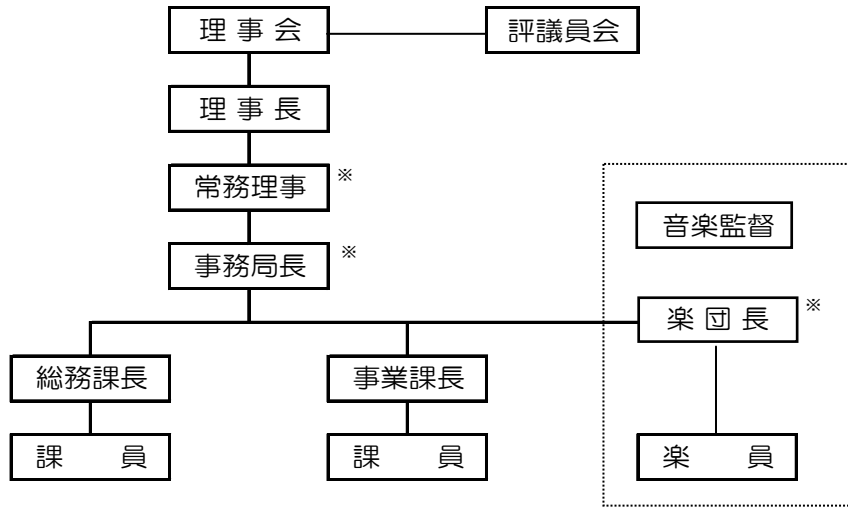
2. 財団の運営

- 理事会の開催
府補助金の削減を踏まえ、経営基盤の確立のためスポンサー募集や寄付金の獲得方策をはじめ各般にわたる審議をおこなった。
定例理事会（2回） 平成21年6月30日、平成22年3月29日
臨時理事会（3回） 平成21年4月1日、平成21年9月7日、平成21年12月7日
- 評議員会の開催
楽団の運営について、専門的見地から提言、指導を行うとともに、理事を選任した。
定例評議員会（2回） 平成21年6月30日、平成22年3月29日
臨時評議員会（2回） 平成21年9月7日、平成21年12月7日
- 事務局運営
事務局のスリム化を図るため、事務局長が楽団長を兼務した。また府派遣職員3名の引き上げ措置を講じた。
さらに、施設運営に係る委託事業など事務事業を精査し、運営経費の削減を図った。
- 楽団組織運営
特別契約楽員制度を廃止し、首席ビオラ、首席チェロ、首席ホルンの契約を解消するとともに、エキストラ謝金の約10%引き下げ措置を講じた。
楽員給与については、人件費総額に留意しながら、モチベーションの維持・向上を図る観点から、給与体系、通勤手当の算定方法を改正した。
また、演奏水準の維持のため、楽員オーディションを実施し、欠員となっていたバイオリン奏者、打楽器奏者を採用した。

○ 組織図

平成21年4月1日 水野 武夫 が理事長に就任した。

役員：15名（理事13名、監事2名）
 評議員：11名
 事務局職員：16名（プロパー4名、契約職員8名、再任用職員2名、民間派遣職員1名、嘱託員1名）
 楽員：45名



※常務理事、事務局長、楽団長は兼務

3. 事業結果

(1) 大阪センチュリー交響楽団の運営

基本理念《芸術性の高い、我が国有数のオーケストラ》《府民に親しまれ、府民の誇りとなるオーケストラ》《青少年育成などを通じ、音楽に親しむ土壌を醸成し裾野を広げる》のもと、年間117回の演奏活動をはじめワークショップの実施やセンチュリー・ユースオーケストラの運営等を行った。

楽団組織

音楽監督	小泉 和裕
首席客演指揮者	沼尻 竜典
名誉指揮者	ウリエル・セガル
首席客演コンサートマスター	川崎 洋介
コンサートマスター	後藤 龍伸
コンサートマスター	太田 雅音
編成	2管10型（楽員定数 56名 現員45名）

① 主催公演

(ア) 定期演奏会

ザ・シンフォニーホールにて、年10回開催（第140回～149回）。

小泉音楽監督が4回、沼尻首席客演指揮者が2回、外国人指揮者が4回登場。

(イ) 特別演奏会

《創立20周年記念 特別演奏会Ⅰ》

楽団が初めて音を発した12月9日の創立20周年記念日を祝して、「歓喜の歌」を歌い上げた。小泉和裕音楽監督の指揮で、合唱は当団と共演を重ねてきた大阪センリユリー合唱団。

日 時 平成21年12月9日（水）

会 場 ザ・シンフォニーホール

曲 目 ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱つき」

《創立20周年記念 特別演奏会Ⅱ》

沼尻竜典首席客演指揮者が、オネゲルの大曲に挑戦し新境地を拓いた。俳優はフランスより招聘し、独唱者は東京、地元の歌手、演出は小須賀紀子氏を起用した。またザ・カレッジ・オペラハウス合唱団、岸和田少年少女合唱団とも共演して地元との連携を深めた。

日 時 平成22年2月5日（金）

会 場 ザ・シンフォニーホール

曲 目 オネゲル：劇的オラトリオ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」

演 出 小須賀 紀子

独 唱 ジャンヌ・ダルク：カティア・レフコヴィチ

修道士ドミニク：エリック・リュフ

聖処女：谷村 由美子（ソプラノ）

マルガグリート：渡邊 玲美（メド・ソプラノ）他

合 唱 ザ・カレッジ・オペラ・ハウス合唱団

児童合唱 岸和田少年少女合唱団

《京都特別演奏会》

大阪府域を越えて知名度向上、ファン拡大を図るため、京都コンサートホールで、平成22年1月17日（日）に開催した。

指 揮 小泉 和裕

曲 目 ブラームス：ピアノ協奏曲 二短調 作品15

ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」

《特別演奏会「OMCカード・クラシックス・スペシャル」

センチュリー—名曲コンサート》

株式会社OMCカード協賛のファミリー向け演奏会をザ・シンフォニーホールで、平成21年4月21日（火）に開催した。

指 揮 本名 徹二

曲 目 ベートーヴェン：交響曲第6番「田園」

J. シュトラウスⅡ：ワルツ「美しく青きドナウ」他

《東京特別演奏会》

“地方都市オーケストラ・フェスティバル2010”シリーズに参加。

独奏者にピアノ奏者 小川 典子氏を迎え、すみだトリフォニーホールで平成22年3月21日（日）に開催した。

指揮 小泉 和裕

曲目 リスト：ピアノ協奏曲第1番

ブルックナー：交響曲第4番「ロマンティック」

② 府民のオーケストラとしての社会貢献事業の推進

公立オーケストラのサービスの一環として、広く一般府民を対象とした演奏会やオーケストラに触れる機会の少ない府民を対象とした演奏会を開催した。

(ア) 「星空ファミリーコンサート」

夏休み期間中の最終の土曜日・日曜日（平成21年8月29日、30日）の2日間、服部緑地野外音楽堂において、クイズコーナーや指揮者コーナーなど参加型のコンサートとして、また青少年によるアマチュア・オーケストラ「センチュリー・ユースオーケストラ」の共演も盛り込んだ無料コンサートを開催した。

(イ) 教育プログラム「タッチ・ジ・オーケストラ」

オーケストラ練習場で、小学生を対象に、演奏を聴くだけでなく、楽器に触れて音を出すなど、文字どおりオーケストラを体感するコンサートを開催した。

平成21年6月3日、4日、5日 5公演

平成21年10月29日、30日 4公演

平成22年2月15日、16日、17日 5公演 22校 1,596人

(ウ) 「センチュリーこどもコンサート」

市町村教育委員会と共催で、小学生をホール・体育館に招待してコンサートを開催した。

平成21年6月11日 東大阪市総合体育館 2公演

平成22年1月14日 マドカホール（岸和田） 2公演

平成22年2月24日 四條畷市市民総合センター 2公演

(エ) 「特別支援学校の児童・生徒を対象とした音楽鑑賞機会の提供

府立特別支援学校6校（守口支援学校、視覚支援学校、岸和田支援学校、富田林支援学校、泉北高等支援学校、堺聴覚支援学校）の児童・生徒569名を、国際障害者交流センター（ビック・アイ）に招き、平成21年12月22日、オーケストラによる音楽を体全体で感じてもらう機会を提供した。

(オ) 府立病院コンサート

5つの府立病院のロビー等において、入院・通院の患者やその家族を対象に、音楽演奏によるやすらぎと感動を提供するため、アンサンブル・コンサートを開催した。

平成21年5月14日 急性期・総合医療センター

呼吸器・アレルギー医療センター

平成21年5月15日 精神医療センター

母子保健総合医療センター

成人病センター

(カ)「オーケストラの日」コンサート

オーケストラを身近に感じ親しんでいただくため、平成22年3月31日「オーケストラの日」に、京阪神地区オーケストラによる初のリレーコンサートが、NHK大阪ホールで開催され、小泉和裕音楽監督の指揮で演奏した。

③ レクチャー・ワークショップ型事業の取り組み

青少年育成のための事業などさまざまな取組を通じて、クラシック音楽ファン、大阪センチュリー交響楽団のファンの定着、裾野の拡大を図った。

(ア)「センチュリー・ユースオーケストラ」

財団法人関西テレビ青少年育成事業団と連携して平成19年に創設した「センチュリー・ユースオーケストラ」は、楽員の指導のもと、定期演奏会を開催するとともに、大阪センチュリー交響楽団との合同演奏を行った。

○「星空ファミリーコンサート」(共演：大阪センチュリー交響楽団)

平成21年8月29日、30日 服部緑地野外音楽堂

指揮 小田野 宏之

曲目 グリーグ：ピアノ協奏曲

○ 第2回定期演奏会

平成22年3月28日 いずみホール

指揮 小田野 宏之

曲目 ベートーベン：交響曲第1番

チャイコフスキー：交響曲第4番他

(イ) リハーサルの公開

定期会員・ファンクラブをはじめ、音楽ファンにオーケストラへの興味・理解を深めていただくため、センチュリー・オーケストラハウスや演奏会場での練習風景を公開した。

平成21年 4月19日 センチュリー・ユース・オーケストラ団員 OMC名曲コンサート

平成21年 6月16日 定期会員 第142回定期演奏会

平成21年10月15日 朝日カルチャーセンター会員 第145回定期演奏会

平成21年11月10日 箕面高齢者クラブ 第146回定期演奏会

平成22年 3月23日 私学芸術文化セミナー(高校生) 第149回定期演奏会

平成22年 3月31日 会場入場者(子ども) オーケストラの日コンサート

(ウ) インターシップ生の受入れ

NPO 法人大学コンソーシアム大阪及び大阪音楽大学、大阪芸術大学からインターシップ生10名を、平成21年8月24日～31日及び平成22年2月19日～25日に受け入れ、オーケストラの舞台づくりやライブラリアン業務等の現場体験、レクチャーを行った。

(エ)「おとなのためのヴァイオリン・ヴィオラ教室」(新規)

平成21年10月から、一般向けの取り組みとして、楽員OBによる定期会員及びファンクラブ加入者のための習熟別個人レッスンを、9人を対象に72回実施した。

④ 依頼演奏の公演

音楽事務所や音楽ホール、公立ホール、企業等へ精力的に働きかけ、67回の公演を行った。更に、文化庁「本物の舞台芸術体験事業」の一環として、兵庫・四国地方の小・中・支援学校でのワークショップを14回実施した。

公演実績

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	⑳－㉑
①	自主公演	40	44	52	50	△2
	フルオーケストラ	31	38	46	42	△4
	アンサンブル	9	6	6	8	2
②	依頼公演	52	70	73	67	△6
	フルオーケストラ	48	64	60	55	△5
	アンサンブル	4	6	13	12	△1
総公演数 (①+②)		92	114	125	117	△8

(2) 府民芸能・芸術鑑賞会事業（半額鑑賞会）

芸能・芸術愛好家の裾野の拡大を図るため、大阪府並びに社団法人日本演劇興行協会と連携して、優れた舞台公演のS席・1等席入場券を通常料金の半額で府民に提供した。

募集回数：6回（第103回～108回）

実施劇場：新歌舞伎座・大阪松竹座・京都南座・国立文楽劇場

応募席数：（ハガキ 51, 242通） 91, 857席

当選席数：68, 085席（確定席数 50, 699席）

*当事業は、次年度から社団法人日本演劇興行協会が実施することとなった。

(3) オーケストラハウスの管理

大阪府からオーケストラハウスを貸借し、大阪センチュリー交響楽団の練習場、財団事務所として使用するとともに、府民の「音楽サロン」として適正に運営した。